

(11) Publication number: Japanese Unexamined Utility Model Application, First Publication No. S62-51065

(54) Title: SEAT BELT DEVICE

(72) Inventor: MORI, Shinji

(57) Claims

(1) A seat belt device comprising: a seat cushion on which an occupant is to be seated; a seat cushion reinforcing member disposed under the seat cushion, and being displaceable in a vertical direction; a displacing means for displacing the seat cushion reinforcing member in the vertical direction; and an occupant restraining webbing coupled to the displacing means.

Description of reference symbols

10: webbing, 14: take-up device, 16: slip joint, 18: seat, 20: anchor plate, 22: arm, 24: tongue plate, 28: buckle device, 32: seat cushion, 40, 50, 68: reinforcing plate, 58: shaft, 60: cam plate, 62: arm, 66: pin, 70: post, 74: cylinder, 76: wire

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭62-51065

⑤ Int. Cl.

B 60 R 22/26
22/22

識別記号

庁内整理番号

8510-3D
8510-3D

④ 公開 昭和62年(1987)3月30日

審査請求 未請求 (全5頁)

⑬ 考案の名称 シートベルト装置

⑭ 実 願 昭60-142955

⑮ 出 願 昭60(1985)9月19日

⑯ 考 案 者 森 信 二 愛知県丹羽郡大口町大字豊田字野田1番地 株式会社東海
理化電機製作所内⑰ 出 願 人 株式会社東海理化電機 愛知県丹羽郡大口町大字豊田字野田1番地
製作所

⑱ 代 理 人 弁理士 中 島 淳

⑲ 実用新案登録請求の範囲

- (1) 乗員着座用シートのシートクッション下方に高さ方向へ変位可能なシートクッション補強部材を配設し、さらにシートクッション補強部材を高さ方向へ変位させる変位手段を配設するとともに、変位手段と乗員拘束用ウエビングとを連結したことを特徴とするシートベルト装置。
- (2) シートクッション補強部材は一端部が回転自在に軸支されて他端部が高さ方向へ変位するように揺動可能とされた板材である実用新案登録請求の範囲(1)記載のシートベルト装置。
- (3) 変位手段は一端部が回転自在に軸支され他端部が乗員拘束用ウエビングに連結されてシートクッション補強部材の下方に配設されたアームであり、乗員拘束用ウエビングに牽引されて揺動され中間部でシートクッション補強部材を押圧して揺動させる実用新案登録請求の範囲(2)記載のシートベルト装置。
- (4) 変位手段は回転自在に軸支された軸部材と、軸部材に固着されたカム部材と、一端部が軸部材と固着され他端部が乗員拘束用ウエビングと連結されたアームとを備え、乗員拘束用ウエビングに牽引されるアームの揺動でカム部材がシートクッション補強部材を押圧して揺動させる実用新案登録請求の範囲(2)記載のシートベルト装置。
- (5) シートクッション補強部材は高さ方向に直線動可能に配設され、変位手段はシートクッション補強部材と乗員拘束用ウエビングとを連結す

るワイヤとワイヤを案内するローラとを備える実用新案登録請求の範囲(1)記載のシートベルト装置。

(6) 乗員拘束用ウエビングの中間部がタングプレート及びバックル装置を介して変位手段に連結される実用新案登録請求の範囲(3)乃至(5)のいずれかに記載のシートベルト装置。

(7) タングプレートから延出して乗員の腰部を横切る乗員拘束用ウエビングの端部がアンカプレートを介して変位手段に連結される実用新案登録請求の範囲(3)乃至(5)のいずれかに記載のシートベルト装置。

図面の簡単な説明

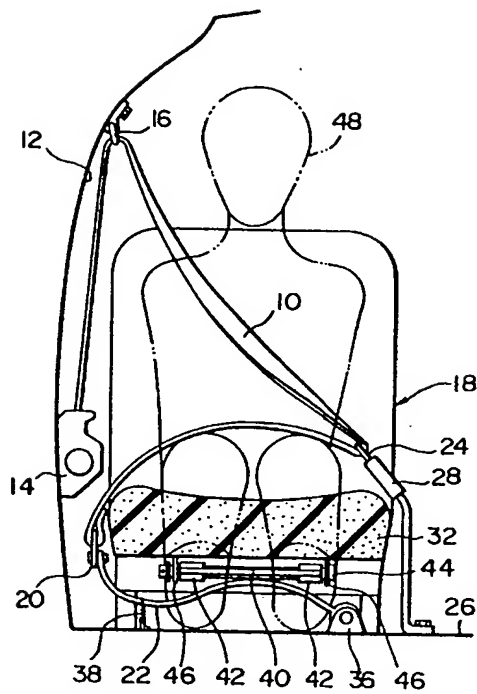
第1図乃至第3図は本考案に係るシートベルト装置の第1実施例を示し、第1図はシートクッションを断面にして見た正面図、第2図及び第2A図はシートクッションを破断して見た側面図、第3図は要部の分解斜視図であり、第4図乃至第5図は第2実施例を示し、第4図及び第4A図はシートクッションを破断して見た側面図、第5図は要部の分解斜視図であり、第6図は第2実施例の変形例を示す第5図に対応した分解斜視図であり、第7図及び第8図は第3実施例を示し、第7図はシートクッションを断面にして見た正面図、第8図は要部の分解斜視図である。

10……ウエビング、14……巻取装置、16……スリッジョイント、18……シート、20……アンカプレート、22……アーム、24……タングプレート、28……バックル装置、32……

…シートクッション、40、50、68……補強板、58……軸部材、60……カム板、62……

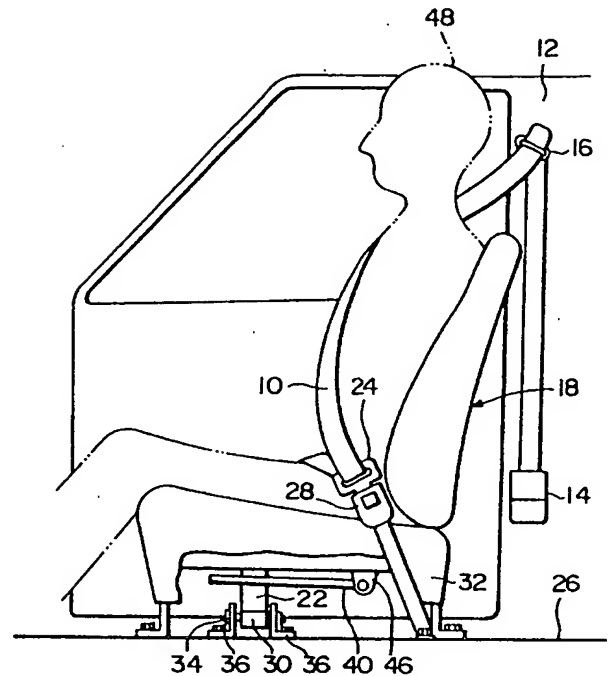
アーム、66……ピン、70……ポスト、74……シリング、76……ワイヤ。

第 1 図

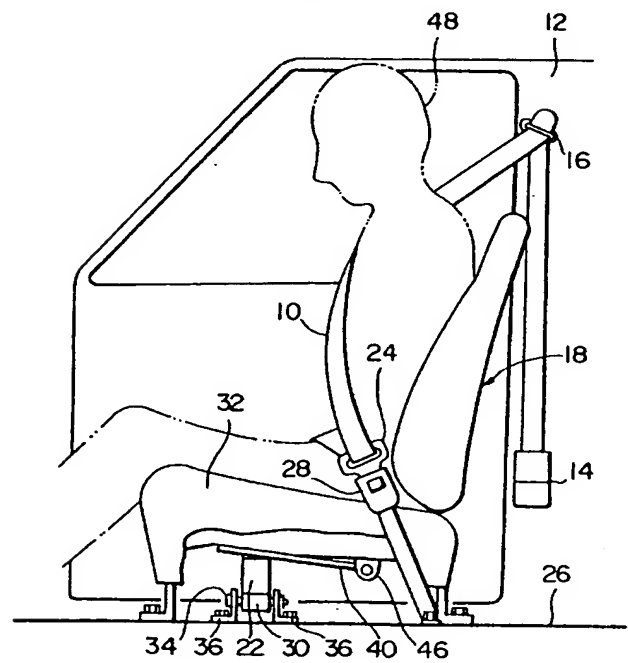


- 10: クッション
- 14: 巻取装置
- 16: スリッジョイント
- 18: シート
- 20: アンカプレート
- 22: アーム
- 24: タングプレート
- 28: バックル装置
- 32: シートクッション
- 40: 補強板

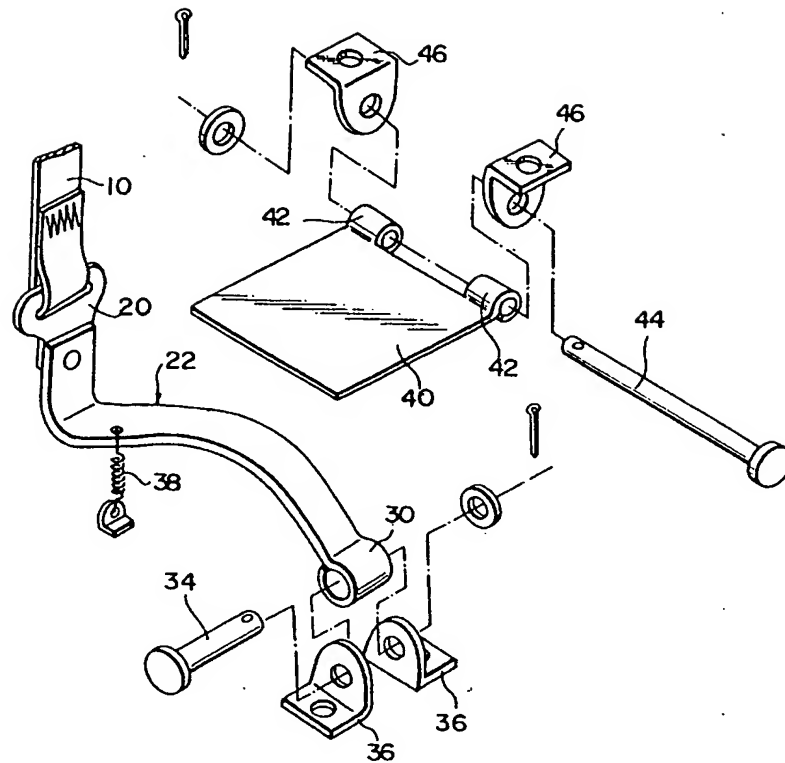
第 2 図



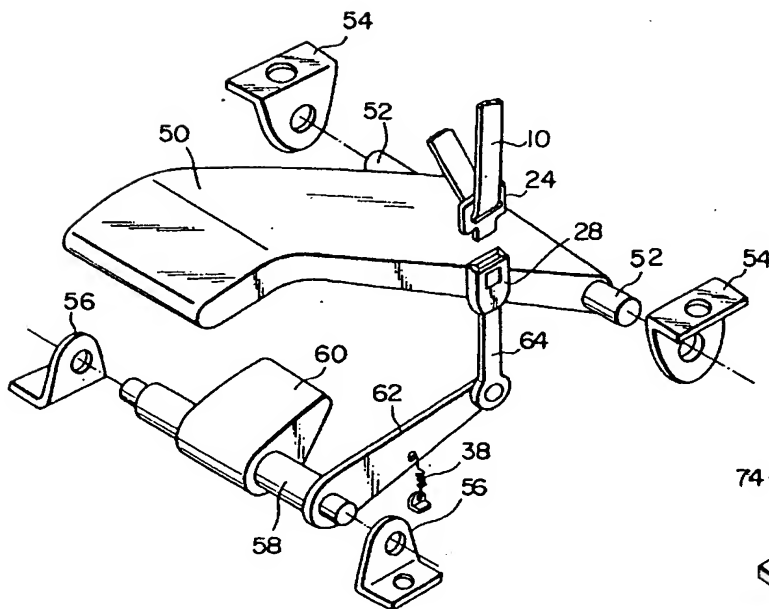
第 2 図 A



第 3 図

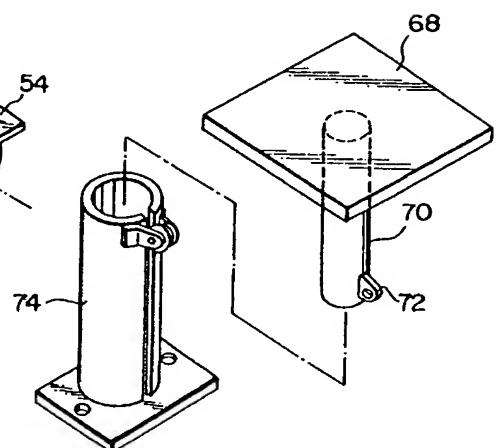


第 5 図

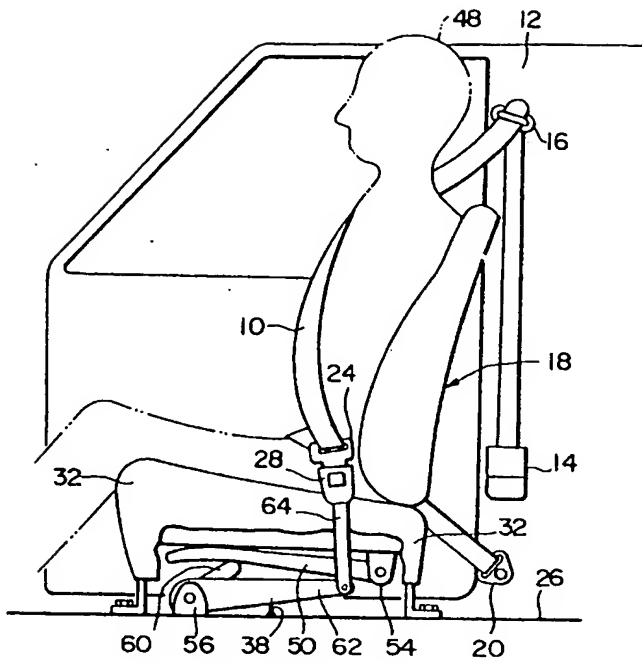


58:軸部材

第 8 図

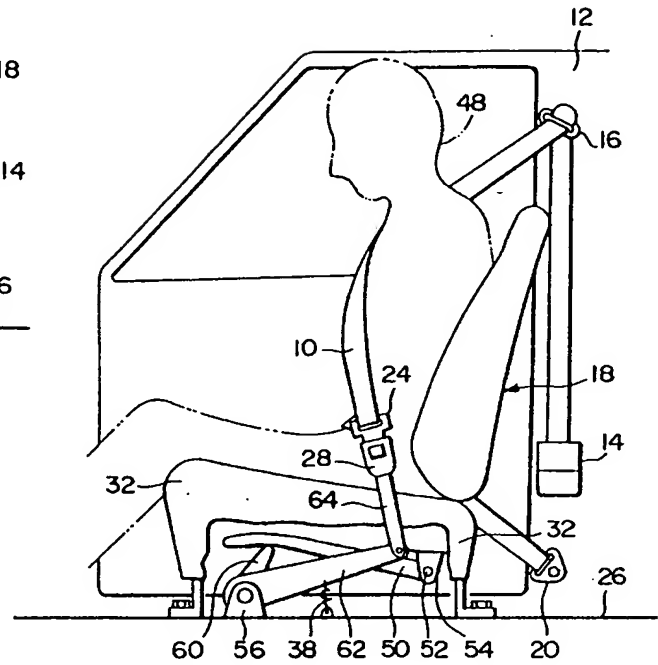


第4図

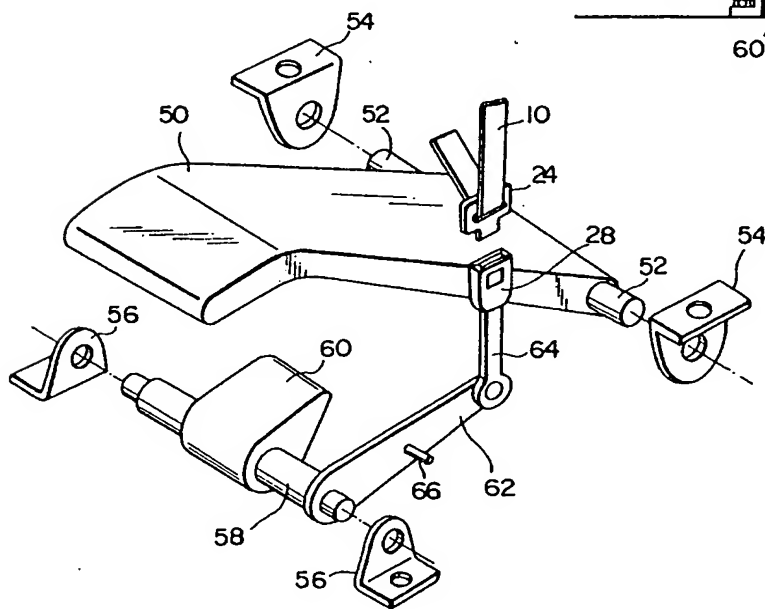


50: 補強板
60: カム板
62: アーム

第4図 A

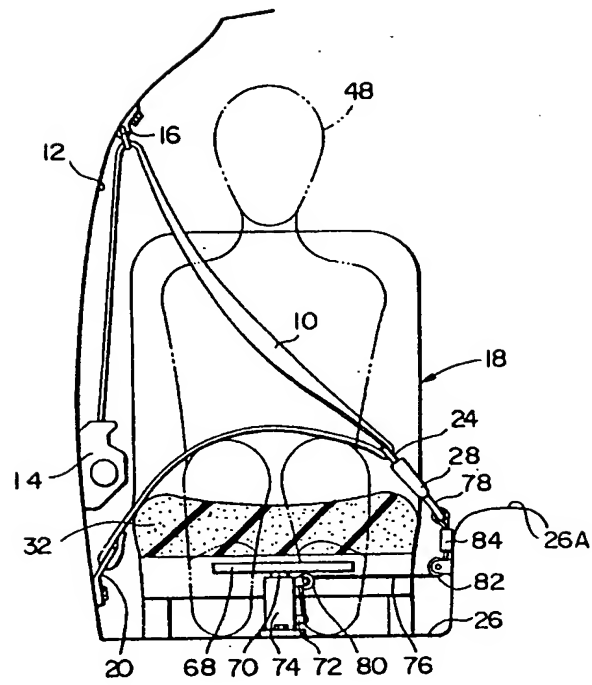


第6図



66: ピン

第 7 図



- 68 : 補強板
- 70 : ホスト
- 74 : シリンダ
- 76 : ワイヤ